SH5-060001～062999、SHJ-002001～015999、SH9-002001～003999

2010年10月以降

ドアポケットに入れてお使いください

FORESTER

クイックユーザーガイド

このクイックユーザーガイドは、運転者ならびに同乗者の方に
FORESTER を楽しく安全にお使いいただくためのガイドです。
初めて FORESTER に触れられるときにぜひご一読ください。

クイック ユーザーガイドは取扱説明書の抜粋版です。必ず取扱説明書をご一読ください。

運転席周辺

フロントワイパー

エンジンスイッチが「Acc」または「ON」のときに使用できます。

OFF：停止
⌒：間欠作動
LO：低速連続作動
HI：高速連続作動

●ミスト
レバーを手前に引いている間、ワイパーが作動します。

●間欠作動の時間調整
リングを上に回すと作動間隔が短くなり、下に回すと長くなります。

●ウォッシャー液の噴射
スイッチを押している間、ウォッシャー液が噴射し、ワイパーが作動します。

ヘッドランプウォッシャー

エンジンスイッチが「ON」でライティングスイッチが ≣D のとき、スイッチを1秒以上押すと、フロントウォッシャーと連動して 1秒間作動します。

SI-DRIVE (SUBARU Intelligent Drive)

[S] [I] S#

メーター内の選択しているモードの表示灯が点灯します。

◀SI-DRIVEセレクター

SI-DRIVE※は、3つの特性をもった走行モードを選べるシステムです。各モードの特性は取扱説明書3章をご覧ください。

※SI-DRIVE は、SUBARU Intelligent Drive に由来します。

● I（インテリジェントモード）
SI-DRIVE セレクターを押します。

● S（スポーツモード）
SI-DRIVE セレクターを左に回します。

● S#（スポーツシャープモード）
SI-DRIVE セレクターを右に回します。

リヤワイパー

エンジンスイッチが「Acc」または「ON」のとき使用可能。

⚲（上側）：ワイパー作動中にウォッシャー液を噴射
ON：連続で作動
INT：間欠作動（車速に応じて変化）
OFF：停止
⚲（下側）：ウォッシャー液が噴射し、ワイパーが作動。手を放すと「OFF」に戻ります。

Info-ECOモードスイッチ

Info-ECOモードを選択するスイッチです。
燃費の良い走りのとき、メーター内 Info-ECO表示灯が点灯します。

ライティングスイッチ

OFF：消灯
≡DO≡：車幅灯、尾灯、番号灯が点灯
≡D：上記 ≡DO≡ 時に点灯のランプに加えて、ヘッドランプが点灯

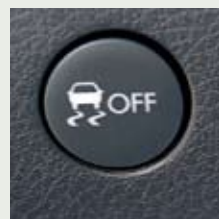
●ヘッドランプの上下を切り替える
レバーを前に押すと上向き、元に戻すと下向きになります。

●パッシング
レバーを手前に引いている間、ヘッドランプは上向きになります。

※電源を「OFF」、またはキーを抜くと、ライトは消灯しますが、ライティングスイッチを一旦「OFF」にして再度 ≡DO≡ または ≡D 位置にすると電源OFF状態でもランプが点灯します。
※車から離れるときは、バッテリー上がりをふせぐため、必ずライティングスイッチを「OFF」にしてください。

フォグランプスイッチ

ライティングスイッチが ≡DO≡ または ≡D のときに使用できます。
OFF：消灯
≢D：フロントフォグランプが点灯 ✿
O≢：リヤフォグランプが点灯

VDC OFFスイッチ

VDC（ビークルダイナミクスコントロール）システムを一時的に「OFF」にしたい場合に押します。作動可能状態に復帰させるときには、もう一度 VDC OFF スイッチを押します。

※通常は「ON」でご使用ください。「OFF」にする場合については取扱説明書をご覧ください。

クルーズコントロール ✿

アクセルペダルを踏まなくても車速を一定に保つことができる機能です。
CRUISE スイッチ 1 を押すとクルーズコントロールが作動可能になります。
作動停止するときはスイッチをもう一度押します。

●速度をセットするとき
希望する車速のときに SET/COAST スイッチ 2 を押します。

●一時解除
ブレーキペダルを踏む、または CANCEL スイッチ 3 を押します。

●一時解除の復帰
RES/ACC スイッチ 4 を押します。

●セット速度の調整
増速するときは RES/ACC スイッチ 4 を、減速するときは SET/COAST スイッチ 2 を希望速度まで押し続けます。

インフォメーションメーター／時計

エンジンスイッチが「ON」のとき、外気温度計と瞬間燃費計または平均燃費計A、B を表示します。
瞬間燃費計と平均燃費計（トリップ A ／トリップ B）は、メーター右下のトリップ切り替え／トリップリセットノブ※ または、タイプ B、C メーター左下のインフォメーション表示切り替えノブ※ を押して切り替えます。
燃費計は非表示にすることもできます。取扱説明書４章を参照してください。
※ノブの位置は P9～10 の表示灯・警告灯のページを参照してください。
時計表示は写真右端の「＋」「−」ボタンで合わせます。

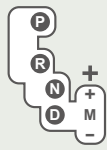
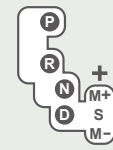
プッシュエンジンスイッチ

P6「プッシュスタートシステム」を参照してください。
詳しくは取扱説明書２章をご覧ください。

チェンジレバー（MT車）

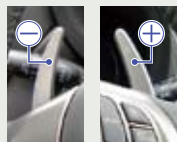
変速するときは、クラッチペダルをいっぱいに踏み込んで確実に操作してください。

セレクトレバー（AT車）

Ⓟ：**パーキング**（駐車およびエンジン始動位置）
Ⓡ：**リバース**（後退位置）※リヤビューカメラ装着車は車両後方の映像がモニターに表示されます。
Ⓝ：**ニュートラル**（中立位置）
Ⓓ：**ドライブ**（通常走行位置）

SI-DRIVE装着車　SI-DRIVE装着車以外

●スポーツモード
SI-DRIVE 装着車以外で **D** から右へ動かすとスポーツモードになります。
※SI-DRIVE 装着車は SI-DRIVE セレクターで選択します。

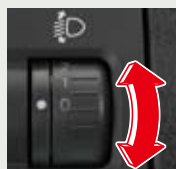
●マニュアルモード
SI-DRIVE 装着車は **D** から右へ動かすと、SI-DRIVE 装着車以外は **S** から上下どちらかへ動かすとマニュアルモードになります。

パドルシフト

右側のレバーが⊕(アップ)、左側のレバーが⊖(ダウン)になります。1 段上のギヤに変速するときは⊕を、1 段下のギヤに変速するときは⊖を手前に引きます。
マニュアルモード(左ページ参照)で使用します。
D 位置で変速すると一時的にマニュアルモードになり、しばらく走行後また D へ戻ります。

イルミネーションコントロールダイヤル

メーターなどの明るさを調整できます。上方向に回すと明るくなります。

〈ブライト(減光キャンセル)機能〉
ダイヤルを一番明るい段階から、さらに上方向(目盛りの丸部分)に回すと、ライト点灯しても表示部の照明は減光しません。

マニュアルヘッドランプレベラー

ヘッドランプの照らす高さを下げることができます。(通常はダイヤル0の位置で使用)
乗車人数、荷物の積載状態に応じて、ダイヤル位置を調整してください。
※ダイヤル位置の目安は取扱説明書３章をご覧ください。

ドアミラーの調整

●ドアミラー
左右切り替えスイッチ L R を押し、角度調整スイッチ MIRROR で後方視界が充分確認できるように調整します。

●電動格納
スイッチ を押すと左右のミラーが同時に格納され、再度押すと元に戻ります。

パワーウィンドゥの操作

●運転席ウインドゥスイッチ
開けるときは押し、閉めるときは引き上げます。強く操作すると自動で作動します。

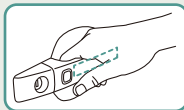
●助手席、後席ウインドゥスイッチ
開けるときは押し、閉めるときは引き上げます。

●ロックスイッチ
ロックスイッチを押すと助手席と後席のウインドゥは開閉できなくなります。

ドアおよびリヤゲートの施錠・解錠／エンジンの始動・停止

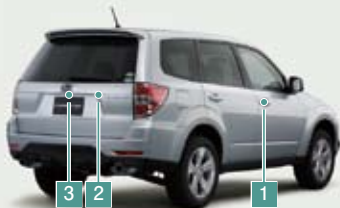
キーレスアクセスによるドアおよびリヤゲートの施錠・解錠

● **ドアハンドル**

アクセスキーを携帯し、運転席または助手席のドアハンドルを握ることですべてのドアおよびリヤゲートの解錠ができます。

また、以下のスイッチを押すことでドア、トランクまたはリヤゲートの施錠・解錠ができます。

● **ドアハンドルのリクエストスイッチ** 1
すべてのドアおよびリヤゲートの施錠

● **リヤゲートのリクエストスイッチ** 2
すべてのドアおよびリヤゲートの施錠

● **リヤゲートオープナースイッチ** 3
リヤゲートの解錠・開扉。すべてのドアの解錠

アクセスキー

※心臓ペースメーカーなど医療用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。詳しくは取扱説明書2章をご覧ください。
※強い電波ノイズがあるときや、アクセスキーの電池残量が少なくなったときは、アクセスキーで操作できないことがあります。

電波式リモコンドアロックによるドアおよびリヤゲートの施錠・解錠

アクセスキー

リモコンキー

アクセスキーまたはリモコンキーのボタンを押すと電波により、車から離れたところからすべてのドアおよびリヤゲートの施錠・解錠ができます。

:すべてのドアおよびリヤゲートの施錠
:すべてのドアおよびリヤゲートの解錠
:リヤゲートの解錠

盗難防止機能

●**盗難警報装置**（設定方法は取扱説明書2章をご覧ください。）
キーレスアクセス機能またはリモコン操作でドアを施錠後、キーレスアクセス機能またはリモコン操作以外でドアが開けられたとき、警報が作動します。警報が作動したときは、次のいずれかの操作で解除できます。

〈キーレスアクセス&プッシュスタート装着車〉
・アクセスキーのいずれかのボタンを押す。
・アクセスキーを携帯し、リクエストスイッチを押す。
・電源状態を「Acc」にする。

〈キーレスアクセス&プッシュスタート装着車以外〉
・リモコンキーのいずれかのボタンを押す。
・エンジンスイッチを「ON」にする。

●**イモビライザー**（盗難防止用エンジン始動ロックシステム）
車両の盗難防止のため、登録されたキー以外ではエンジンの始動ができません。

※キーの登録、システムの点検などの際には、セキュリティIDが必要となります。セキュリティIDプレートは、車内以外の場所に大切に保管してください。
※キーナンバープレートはキーをつくるときに必要ですので大切に保管してください。

セキュリティIDプレート

キーナンバープレート

プッシュスタートシステムによるエンジンの始動・停止 ✤

アクセスキーを携帯して車内に入ると車両の電源の切り替えおよびエンジン始動をすることができます。

電源の切り替え

オートマチック（AT）車はブレーキペダル、マニュアル（MT）車はクラッチペダルを踏まずにプッシュエンジンスイッチを押すと、電源が
OFF→Acc→ON→OFF の順に切り替わります。

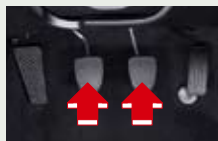
作動表示灯の状態

（緑）	**緑色に点灯**	エンジン始動が可能な状態
（橙）	**橙色に点灯**	「ON」または「Acc」
（灰）	**消灯**	「OFF」もしくはエンジン回転中
（緑・点滅）	**緑色に点滅**	ステアリングロックが解除されていません。 ※解除方法は裏表紙のQ&Aをご覧ください。
（橙・点滅）	**橙色に点滅**	システムの故障が考えられます。 直ちにスバル販売店にご連絡ください。

エンジンの始動

●オートマチック（AT）車

①アクセスキーを携帯し運転席に座ります。
②駐車ブレーキが確実にかかっていることを確認します。
③セレクトレバーが P であることを確認します（N でも始動できますが、安全のため P で始動してください）。
④プッシュエンジンスイッチの作動表示灯が緑色になるまで、ブレーキペダルを踏み込みます（N で始動する場合、作動表示灯は緑色になりません）。
⑤ブレーキペダルを踏んだまま、プッシュエンジンスイッチを押します。

●マニュアル（MT）車

①アクセスキーを携帯し運転席に座ります。
②駐車ブレーキが確実にかかっていることを確認します。
③チェンジレバーがニュートラルであることを確認します。
④ブレーキペダルを踏みます。
⑤プッシュエンジンスイッチの作動表示灯が緑色になるまで、クラッチペダルを踏み込みます。
⑥クラッチペダルを踏んだまま、プッシュエンジンスイッチを押します。

※強い電波ノイズや、アクセスキーの電池残量不足でアクセスキーが正常に作動しないときのエンジン始動

①セレクトレバーが P 位置（AT車）またはチェンジレバーがニュートラル（MT車）であることを確認し、ブレーキ（AT車）またはブレーキペダルとクラッチペダル（MT車）を踏みます。
②アクセスキーのボタン側を手前に向けて、アクセスキーをプッシュエンジンスイッチに触れるまで近づけます。ブザー音（ピッ）が鳴り、プッシュエンジンスイッチの作動表示灯が緑色に点灯します。
③作動表示灯が緑色に点灯してから5秒以内に、ブレーキペダル（AT車）またはブレーキペダルとクラッチペダル（MT車）を踏んだままプッシュエンジンスイッチを押してください。

エンジンの停止

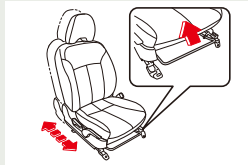
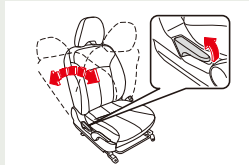
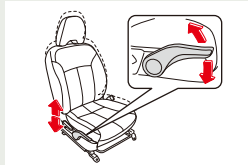
車両を完全に停止させ、プッシュエンジンスイッチを押してください。エンジンが停止し、電源が「OFF」になります。
ただし、オートマチック車はセレクトレバーを P に入れてからエンジンスイッチを押さないと電源が「OFF」になりません。

※セレクトレバーが P 位置以外でもエンジンを停止することができますが、電源は「Acc」になります。
車両から離れるときは P 位置でエンジンを停止し、電源が「OFF」になっていることを確認してください。
※走行中3秒以上プッシュエンジンスイッチを押し続けるとエンジンが停止します。ただし緊急時以外は本操作を行わないでください。

シートの調整

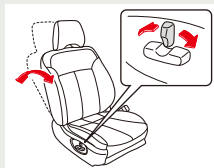
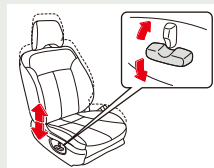
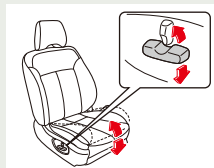
フロントシート（マニュアルシート）

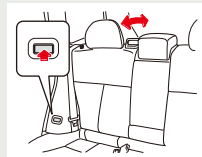
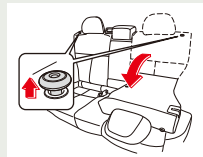
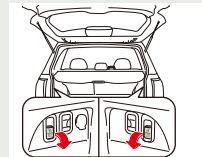
シートのドア側と下部のレバー操作で調整ができます。

●前後位置の調整
前席下部のレバーを完全に引き上げた状態で前後に動かして調整します。

●リクライニング調整
シートのドア側レバーを完全に引き上げた状態で背当て角度を調整します。

●高さの調整（運転席のみ）
レバーを引くたびに上がり、押すたびに下がります。

フロントシート（パワーシート）

シートのドア側のスイッチ操作で調整ができます。

●前後位置の調整
スイッチ全体を前後に動かして調整します。

●リクライニング調整
リクライニングスイッチを前後に動かして背当て角度を調整します。

●高さの調整
スイッチの後側を上下に動かしてシートの高さを調整します。

●座面前側高さの調整
スイッチの前側を上下に動かして調整します。

リヤシート

●リクライニング調整
ボタンを押すと背当て角度の調整ができます。

●背当てを倒し、荷室を広げる
ロックノブを引き上げながら、左右に分割されているシートをそれぞれ倒します。

●荷室から背当てを倒す
荷室の左右にあるスイッチを引くと背当てが前に倒れます。

シートヒーター

エンジンスイッチが「Acc」または「ON」のときスイッチを押すとシートが暖まります。

HIGH：早く暖めたいときに使います。
LOW：保温するときに使います。通常はこの位置で使用してください。
停止させるときは、スイッチを水平にします。

電動ガラスサンルーフの開閉

●開けるとき
スイッチを「OPEN」側に押します。途中で止めるときは、スイッチを「OPEN」または「CLOSE」側に押します。

●閉めるとき
スイッチを「CLOSE」側に押します。途中で止めるときは、スイッチを「OPEN」または「CLOSE」側に押します。

エアコンの操作

フルオートエアコン（左右独立温度調整機構）

●フルオートでの使いかた

①AUTOスイッチを押します。
②左右それぞれのダイヤルで、希望温度に調整します。
表示部にFULL AUTOと表示されます。

●温度調整ダイヤル
室内温度を調整できます。
運転席側、助手席側で室内温度をそれぞれ調整できる左右独立機能と、運転席側ダイヤルで運転席側、助手席側の両方の室内温度を調整できる左右連動機能があります。

●AUTOスイッチ
フルオートで使うとき押します。

●DUALスイッチ
左右独立機能と左右連動機能を切り替えます。助手席側の温度調整ダイヤルを操作したときも左右独立（DUAL）となりスイッチ内表示灯が点灯します。

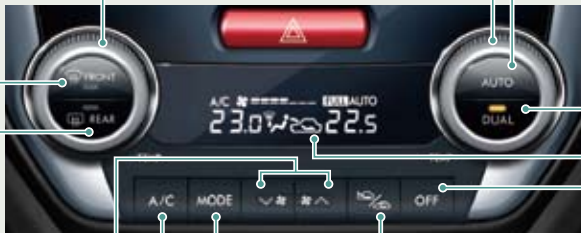
●デフロスタースイッチ
フロントガラス、サイドガラスの曇りや霜をとるときに使います。

●表示部

●OFFスイッチ
エアコンを「OFF」にします。

●リヤウインドゥデフォッガー
スイッチを押すごとに「ON/OFF」が切り替わります。
約15分後に自動的に「OFF」になります。
ヒーテッドドアミラーとフロントワイパーデアイサー装備車は同時に作動します。

●風量調整（ファン）スイッチ
風量を調整できます。

●A/Cスイッチ
冷房・除湿機能の「ON/OFF」を切り替えます。

●モード（吹き出し口）切り替えスイッチ
スイッチを押して切り替えます。
：上半身
：上半身と足元
：足元
：足元と窓ガラスの曇り除去

●内外気切り替えスイッチ
スイッチを押すごとに内気循環と外気導入が切り替わります。
：外気導入
：内気循環
※通常は外気導入をお使いください。

フルオートエアコン

●フルオートでの使いかた

①温度調整ダイヤルで希望温度に調整します。
②吹き出し口切り替えダイヤルと風量調整ダイヤルを「AUTO」位置にします。

●吹き出し口切り替えダイヤル
：上半身
：上半身と足元
：足元
：足元と窓ガラスの曇り除去
：窓ガラスの曇り除去
AUTO：自動制御

●温度調整ダイヤル
室内温度を調整できます。
温度を上げるときは右へ、温度を下げるときは左へ回します。

●風量調整（ファン）ダイヤル
風量を調整できます。
右に回すほど風量が強くなります。「AUTO」では適切な風量に自動制御されます。

●A/Cスイッチ
風量ダイヤルが「OFF」以外のとき、スイッチを押すとエアコン（冷房、除湿）が作動します。
一度フルオートに設定されるとその後スイッチを押すまで、エアコンの「ON / OFF」が自動制御されます。※1

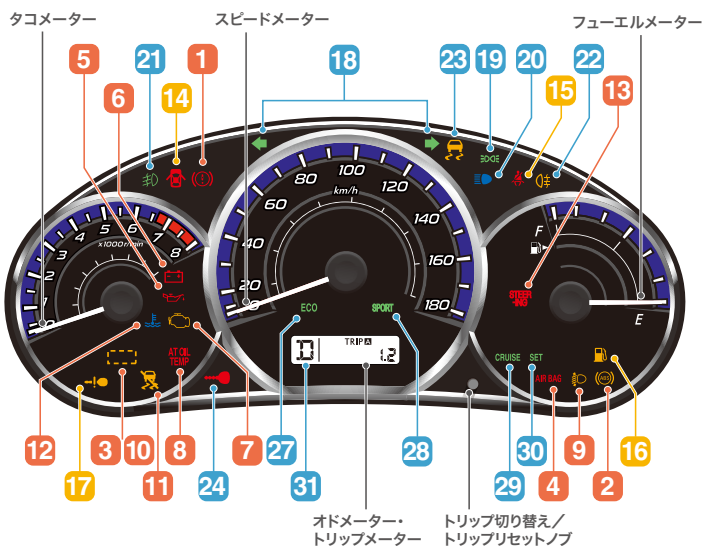
●内外気切り替えスイッチ
スイッチを押して外気導入/内気循環を切り替えます。
一度フルオートに設定されるとその後スイッチを押すまで、外気導入と内気循環が自動制御されます。※1

●リヤウインドゥデフォッガー
スイッチを押すごとに「ON/OFF」が切り替わります。約15分後に自動的に「OFF」になります。ヒーテッドドアミラーとフロントワイパーデアイサー装備車は同時に作動します。

※1 フルオート設定時にA/Cスイッチまたは内外気切替スイッチを押すとその機能はマニュアル作動となります。 再度自動制御にするには、吹き出し口切替ダイヤルまたは風量調整ダイヤルを「AUTO」以外の位置にしてから、「AUTO」位置へ戻してください。

SH5-060001～062999、SHJ-002001～015999、SH9-002001～003999

表示灯・警告灯

〈タイプA〉

〈タイプB〉

1 ブレーキ警告灯
駐車ブレーキがかかっているとき点灯。
ブレーキ液量が不足しているとき点灯。
EBD 制御異常時に点灯。

2 ABS警告灯
アンチロックブレーキシステム（ABS）異常時に点灯。

3 AWD警告灯（AT車）
AWD
異なる径や空気圧の著しく低下したタイヤで走行したとき点滅。

7 エンジン警告灯
エンジン電子制御システム異常時点灯。
触媒を損傷する可能性があるとき点滅。

8 AT油温警告灯（AT車）
AT OIL TEMP
オートマチックトランスミッションオイルの温度が高くなると点灯。異常時に点滅。

9 オートヘッドランプレベラー警告灯
オートヘッドランプレベラー（自動光軸調整機構）のシステム異常時に点灯。

13 ステアリング制御警告灯
STEER -ING
パワーステアリングの電子制御システムに異常があるとき点灯。

14 半ドア警告灯
エンジンスイッチの位置に関係なくドア、リヤゲートが完全に閉じていないとき、点灯。

15 シートベルト警告灯
エンジンスイッチが「ON」のとき、運転者がシートベルトを装着していないと点灯、シートベルトを装着すると消灯。

19 ライティングスイッチ表示灯
ライティングスイッチが または 位置のとき点灯。

20 ハイビーム／パッシング表示灯
ヘッドランプが上向きのとき点灯。パッシング時も点灯。

21 フロントフォグランプ表示灯
フロントフォグランプが点灯しているとき点灯。

25 SI-DRIVE表示灯
[S] [I] S#
SI-DRIVE で選択されているモードが表示されます。

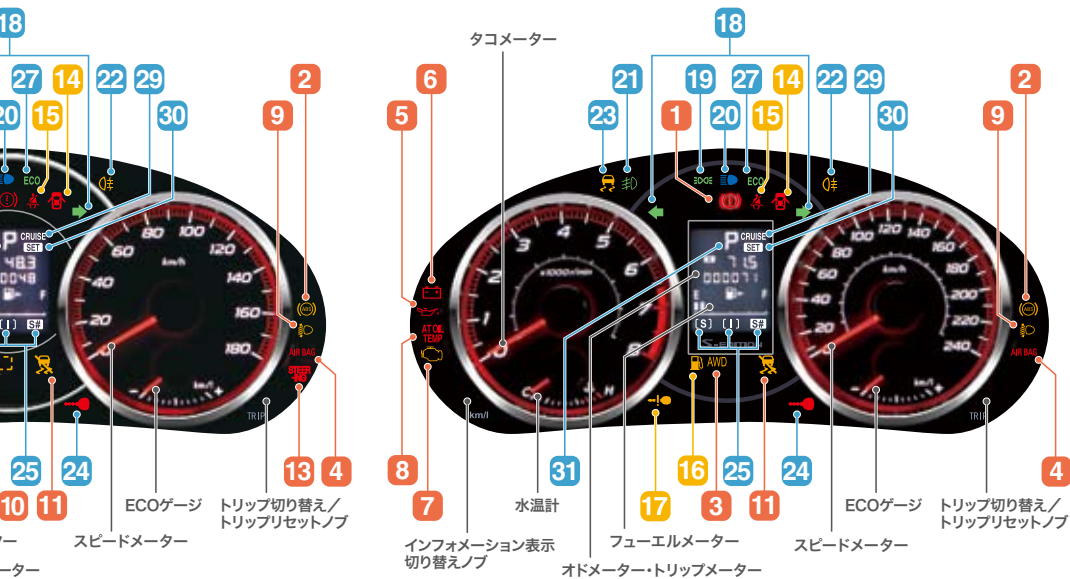
26 シフトアップ表示灯（MT車）
SI-DRIVE でＩ（インテリジェントモード）を選択している場合、燃費効率の良い運転ができるように、シフトアップのタイミングを点滅してお知らせ。

27 Info-ECO（インフォ・エコ）表示灯（AT車）
ECO
SI-DRIVE でＩ（インテリジェントモード）を選択していて、燃費の良い走行状態のときに点灯。

31 セレクトインジケーター／シフトポジション表示灯（AT車）
3/P
セレクトレバーの位置を表示。スポーツモード、マニュアルモード選択時はギヤ位置を表示。

★グレードにより装備されていない機能もありますが、レイアウト上全ての表示灯・警告灯を記載しています。 詳しくは取扱説明書をご覧ください。

〈タイプC〉

タコメーター
水温計
インフォメーション表示切り替えノブ
フューエルメーター
オドメーター・トリップメーター
ECOゲージ
トリップ切り替え／トリップリセットノブ
スピードメーター

4 SRSエアバッグ警告灯 AIR BAG	5 オイルプレッシャー警告灯	6 チャージ警告灯
エアバッグシステムに異常があるとき点灯。	エンジンオイルの圧力に異常があるとき点灯。	充電系統に異常があるとき点灯。

10 ヒルスタートアシスト警告灯（VDC装着のMT車）	11 VDC警告灯／VDC OFF表示灯	12 水温警告灯／水温表示灯
ヒルスタートアシストの制御システムに異常があるとき点灯。	VDC 電子制御システム異常時に点灯（警告灯）。／ VDC OFF スイッチを押してVDCを解除したときに点灯（表示灯）。	オーバーヒート手前で赤色点滅。オーバーヒートで赤色点灯。水温が低いとき青色点灯。異常時は赤／青交互に点灯。

16 燃料残量警告灯	17 キー無し警告灯（キーレスアクセス&プッシュスタート装着車）	18 方向指示器表示灯
エンジンスイッチが「ON」のとき、燃料残量が約 9 リットル以下になると点灯。すみやかに燃料を補給してください。	車内にアクセスキーがない場合に点滅。	方向指示器と同じように点滅。ヒューズや電球が切れたときは点滅速度が早くなる。

22 リヤフォグランプ表示灯	23 VDC作動表示灯	24 セキュリティ表示灯
リヤフォグランプが点灯しているとき点灯。	VDC 作動時は点滅。TCS 機能作動時は点灯。	盗難防止機能がはたらいているときに点灯・点滅します。

28 SPORT（スポーツ）表示灯（AT車） SPORT/SPORT	29 クルーズコントロール表示灯 CRUISE/CRUISE	30 クルーズコントロール車速セット表示灯 SET/SET
セレクトレバーを「D」からマニュアルゲートに移動させるとスポーツモードが選択され、点灯。	クルーズコントロールのメインスイッチを押すと表示。	クルーズコントロール表示灯が点灯している状態で、速度を設定したとき表示。

1～13 異常時に点灯／点滅。取扱説明書を確認の上、お近くのスバル販売店へご相談ください。

14～17 取扱説明書記載の正しい対応方法に従ってください。

18～31 各装置の状態を示します。

※エンジン始動直後は自己診断のため数秒間点灯するものがあります。

日常点検／Q&A

★点検箇所は搭載エンジンによって異なります。詳細はメンテナンスノート、取扱説明書をご覧ください。

日常点検とは、日頃ドライバー自身の責任で行うように法律で義務づけられた点検です。
安全に走行するために大切な項目ばかりですので、日常点検を実施するように心掛けてください。

点検方法についてはメンテナンスノート 4章をお読みください。

■エンジンルーム内

●下記の項目の内容量を点検してください。

■車のまわり

●タイヤの空気圧／き裂、損傷、異常摩耗がないか／溝の深さを点検します。

4輪とも必ず、指定サイズ、同一サイズ、同一メーカー、同一銘柄および同一トレッドパターン(溝模様)のタイヤを装着してください。

●各ランプ、方向指示器を作動させ、状態を点検します。レンズの汚れ、損傷も点検します。

■運転席に座って

●駐車ブレーキ機構の引きしろを点検します。
●エンジンのかかり具合、異音の有無を点検します。
●ブレーキペダルの踏みしろを点検します。
●ウインドゥウォッシャーの噴射状態を点検します。
●ワイパーの払拭状態の点検をします。

■走行して

●ブレーキのきき具合を点検します。
●エンジンの低速および加速状態を点検します。
●運行において異常が認められた箇所を点検します。

困った時のQ&A

Q アクセスキーまたはリモコンキーでドアが開かない

A 電波ノイズの影響が考えられます。車に近づいて再度操作してください。車の周囲約1m 以内で何度か操作しても開かない場合は、アクセスキーまたはリモコンキーの電池の消耗あるいは故障が考えられます。スバル販売店にご相談ください。

Q ハンドルがロックされている(ステアリングロック)

A **プッシュスタート装着車：**プッシュエンジンスイッチを押すと作動表示灯が緑色に点滅します。ハンドルを軽く左右に回しながら、ブレーキペダルを踏み、プッシュエンジンスイッチを再度押してください。
プッシュスタート装着車以外：ハンドルを軽く左右に回しながらキーを「Acc」「ON」の位置へ回してください。ステアリングロックが解除されます。

Q アクセスキーまたはリモコンキーでドアを解錠しても自動で施錠してしまう

A アクセスキーまたはリモコンキーで解錠してから、ドア・リヤゲートを開けないまま約30秒経つと自動で施錠します。

●お問い合わせ、ご相談はお近くのスバル販売店、または下記の窓口へお願いいたします。

SUBARUお客様センター
SUBARUコール0120-052215
受付時間：9:00～17:00 (平日)
土日祝は9:00～12:00、13:00～17:00

SUBARUお客様センターでは下記の内容を承っております。
(1) ご意見／ご感想／ご案内 (カタログ、販売店、転居お手続 他)
(2) お問合わせ／ご相談
※平日の12:00～13:00および土日祝は (1) のインフォメーションサービスのみとなります。

富士重工業株式会社
スバルカスタマーセンターお客様相談部
〒160-8316 新宿区西新宿1-7-2 (スバルビル)

●スバル最新情報をインターネットで。
www.subaru.co.jp

お問い合わせは

富士重工業株式会社
スバルカスタマーセンター　カスタマーセンター企画部
〒160-8316 東京都新宿区西新宿1-7-2 スバルビル

発行 2010年9月　Printed in Japan NK
Publication No. F8160JJ-A